

東京都

こっそり測定 非公開

党都議団要請 水元公園の線量

東京都葛飾区の都立水元公園の土壌から高濃度の放射性物質が検出された問題で、都建設局は20日、同公園の

空間放射線量の測定を行いました。

日本共産党都議団の調査で判明したもので、同公園の土壌から

1平方メートルあたり最高25万ベクレルを超えた箇所が見つかりました。党都議団は12日の都議会代表質問で全面的調査と除染

を要求。19日に改めて調査し、周辺より1割程度高い空間線量の箇所が複数あったことを確認し、都に調査と除染を申し入れ、文部科学省にも通報しました。

滝沢達公園管理担当部長は、本紙の取材に「19日に文科省から要請を受けたので調査した」と回答。しかし、調査箇所や結果については「詳細はまだ分からないが、除染基準を超えた地点はなかったと聞いている。結果を公表する予定はない」と答えました。

日本共産党のかち佳代子都議の話 私たちは通告者として測定に立ち会おうと建設局に伝えていましたが、建設局がこっそり測定したことは許せません。私たちに確認もしないで最高1・27ベクレルの地点

が特定できたのか。どこでどのよう測定し、どのような結果だったのかも公表しないのは認められません。結局、都の対応は何が何でも「都内には放射能汚染がない。除染はしない」という結論を出すことが前提となっていると言わざるを得ません。